



拓く

夢を持ち、豊かに生きる生徒の育成
 ～コミュニティ・スクールを通して～
 福富中学校便り No.14 令和3年 3月24日
 文責 校長 福田健成

コミュニティ・スクール「ふるさと福富を愛し、誇れる子ども」

心に感謝の種がある人は、頑張れる

桜の開花の便りが届き、満開を待つばかりとなりました。マイランド公園の桜も見頃となりました。首都圏の緊急事態宣言も解除され、いろんな場での「自粛」の文字もずいぶん少なくなりました。県内でも、カラオケ関連の感染者の急増から、感染者数も日を追うごとに少なくなり、0の数字が並ぶのも増えてきましたが、油断大敵です。新しい様式への対応で、いろんな場で様変わりしましたが、With コロナ、「もらわない」「ひろげない」を今後も徹底します。



さて、本日3月24日、令和2年度修了式を行い、1・2年生81名に、「優しさ」のお話をしました。今年度限りの勤務で一番感じたことは、本校の生徒は確かな学力と共に、本当の優しさを兼ね備えているということです。確かな学力の証には、県立高校の入試を終え、特別選抜の受験者3名と一般入試の受験者29名は全員合格し、3月12日の私立及び県立の合格者登校日に卒業生46名が全員参加できました。中学校勤務18年間で初めてのことでした。また、「優しさ」の面では、今年度、「修学旅行」「体育大会」「文化発表会」と大忙しの3年生でしたが、みんながそれぞれの立場を理解し、役割分担した内容を確実に遂行し、遅れた部署には男女分け隔てなく協力して見事にやり遂げる事ができ、「卒業式」でもそのことを伝えました。今日の話では、それに「感謝」の心を付け加えて欲しいと話しました。心に感謝の種をもっている人は、人の優しさを受け「ありがたさ」を痛感します。それと同時に、再挑戦あるいは次の目標への力強い原動力となるはずで

「心に感謝の種がある人は頑張れる」、さあ新しい学年へジャンプアップ!

「辞任式」・・・お世話になりました

本日付の新聞発表にあるように、本校では校長と教諭1名、町職員1名が退職、教頭と事務職員の副主査及び講師2名、時間講師3名、町職員1名が転出となりました。1年間勤務の者から、長いものでは6年間お世話になりました。式では、生徒からそれぞれの先生方へ、感謝の言葉と花束をいただきました。地域の方、保護者の方からの多大なるご協力とご支援に本当に感謝いたします。転出者一同、この場を借りてお礼申し上げます。「ありがとうございました。」

4月の主な行事予定

1～5	6	7	9	12	15	19	20	26	27	29	30
木～月	火	水	金	月	木	月	火	月	火	木	金
春季休業5日まで	令和3年始業式 赴任式、学級開き	学力検査、給食開始	第75回入学式	発育測定、生徒集会	PTA役員会・委員会	生徒総会⑥	内科検診 PTA総会	体育大会結団式	学校運営協議会	㊦昭和の日	全校集会

定年を迎えて

今年度は、コロナ禍の緊急事態宣言による「臨時休校」で幕を開け、最後の1年に大変なことになったなあと思い、あれこれと対応している間に、3月まで突っ走って来てしまいました。本当に「光陰、矢のごとし」。歳を取ると共に、

1年間の時の早さを感じますが、今年の早さは格別でした。平成10年に初めて中学校教員として、本校に赴任して6年間お世話になり、令和3年3月にこの学校で定年を迎え退職できることに感謝いたします。ご協力、ご支援の数々ありがとうございました。本当にお世話になりました。